



長島町

川崎 静代さん (55歳)

□プロフィール

ボランティア団体「ねこのひげ」のメンバーとして、保護猫の譲渡会の開催やペット防災の啓発を行っている。アウトドアが好きで、趣味はキャンプ。最近はソロキャンや、友人たちとのグルキャンを楽しんでいる。特に水辺で行うキャンプがお気に入り。



ねこのひげ
Instagram



▲保護猫譲渡会で来場者に猫の性格を話す川崎さん

昨年11月、災害時にペットを連れて避難するための知識を広めるイベント「ペット防災」が開催された。同イベントを主催した「ねこのひげ」のメンバーの一人、川崎静代さんは、ペット防災の他、保護猫の譲渡会を開催するなどの活動を行っている。

幼い頃から犬や猫と暮らしてきた一人っ子の川崎さんにとって、ペットは兄弟のような存在だった。結婚後も、雨の中たたずむ子猫をはじめ、行き場を失った猫たちを家族として迎え入れ暮らしてきた。48歳の時、どうぶつ基金への寄付をきっかけに、保護猫活動の存在を知り、活動に参加。ボランティアとして関わる中で、保護活動を継続するには多くの費用がかかること、費用の大半は受け入れ団体や個人の預かりボランティアの実費となっている現状を知った。また、保護猫が新しい家族と出会い、幸せに暮らす姿を見るうちに、「保護猫と新しい家族とのマッチング

の場がもっと必要」と強く思うようになった。

53歳の時、仲間と「ねこのひげ」を設立。一匹でも多くの保護猫が新しい家族に巡り合えるよう保護猫譲渡会「幸せねこの出会い会」の企画運営を始めた。保護猫のこれからを大切に思う川崎さんは、猫と飼い主のミスマッチが起らないよう譲渡会に参加する団体や預かりボランティアとは事前面談を行い、猫の状態を確認してから譲渡会に参加してもらっている。

「これまでに5匹の猫と新しい家族との出会いに関わることができた。新しい家族からその後の猫の様子を聞くたび、うれしくなる。保護猫の悲しい過去を見るのではなく幸せな未来を描きたい」と笑顔で話す川崎さん。

今後は、多くの人に保護猫の現状を知ってもらい協力につなげていきたいと、猫たちの幸せなニャン生を思い描きながら、川崎さんの挑戦は続く。

猫の幸せな未来を描いて 保護猫と新しい家族を結ぶ架け橋に



市のホットなニュースを紹介！

その他の話題はこちらから▶



12/6-7 女性たちの熱き戦い
WOMEN'S RALLY in 恵那2025

第9回ウィメンズラリーが行われ、笠置山モーターパークと飯地高原を女性ドライバーが駆け抜けました。市内在住の松井彩選手は、クラス3位で初の表彰台に上がりました。



12/1 三郷ひろばの壁に色を塗ったよ

三郷小の児童が、三郷ひろばの壁にかわいらしいイラストを描き、色とりどりのペンキで色を塗りました。



12/5 明知城跡の発掘調査成果を報告

明知城跡発掘調査の成果報告を行いました。17世紀初頭の出丸は、本丸と比較して格式の高い空間だったと考えられることなどが明らかになりました。



12/6 ジュニアエコノミカレッジ in ENA

国道19号周辺で、市環境対策協議会の会員や企業が、吸い殻やペットボトルなど、計40畧のごみを拾いました。

市内の小学校5・6年生の児童ら10チームが、自らが開発した商品の販売に挑戦。会場では、子どもたちが大きな声で呼び込みを行いました。



12/11 恵那をきれいに！環境美化作業を実施

おめでとうございます！

12/14 中山道を花で彩るのれんコンテスト



大井町自治会館で中山道のれんコンテストの表彰式が行われました。本年のテーマは「花」。144点の応募の中から、23の団体・個人が入賞しました。



12/15 文部科学大臣表彰を受賞

恵那市の障がい児者の生活を豊かにする会が、活発かつ継続的な活動を評価され、「障害者の生涯学習支援活動功労者表彰」を市内で初めて受賞しました。

卓越した技能者の県知事表彰を受賞した明光化成工業株式会社(明智町)の澤田修平さんが、市長に受賞の報告に訪れました。



12/22 技能水準向上に貢献 県知事表彰を受賞